

令和2年度 第1回 役員検討委員会

1. 組織

委員長 吉田幸子 副委員長 木田美和 書記 木村絢歌

2. 役員任期等について

- ・前回までのローテーションを踏まえて計画する。
- ・各役員が新旧でいるので、前年度のことは聞くことができるので、1年より2年で行う。

白・野 地区での意見を見ていくと、30、40代は1年、50代は2年の任期で考えている。引継ぎを考えると、2年の方がスムーズで、1年だと早くローテーションが回ることとなる。

鳳・輪 ・以前は副会長から会長でスムーズだったが、いきなり2年も会長を務めることは心配。
→前年度から引き続きの副会長がおり、聞けるので安心。2年任期なので周囲に聞ける。
・役員会の開催を少なくし、スリム化を図る。

羽昨 30、40代は子ども、50代は親のことで、家庭と2年任期の役員とのバランスが難しい。

珠洲 地区によっては年代の偏りが激しい。

小松 ・副会長から会長という仕組みからそれぞれの任期が2年に変わった経緯は？
→副会長と会長では職務が違う。県外はだいたい2年周期で、石川のみ会長の顔が毎年変わっていたため、研究会の顔である会長職は2年間が妥当。

高校 ・会長から顧問になると、3年になるため厳しい。他からもサポートがあるため、会長から顧問は必要か。
・子育て世代で休まなければいけない時は休むことも考慮する。リモート会議など、どの世代も参加しやすい会の持ち方を考えていく必要がある。

以上の意見を会員に伝えた上で、任期は2年とする。

3. 研究協議会

副会長より・・・R3は準備が足りないため、1日で開催の予定。

また今後1日開催に移行していくことを考えていくことも必要。

羽昨 開催日を減らしたら、今後増やしていくことは難しいのではないか。

来年度のことも含めて一度会員に意見を聞くことが必要である。

会費を集めている会であり、開催日を減らすことで会員数が減ってしまうことも懸念される。

→助成金の関係もあり、一日開催になると、助成金が減る可能性もある。R3を1日開催してR4で2日開催できるかもわからない。役員会で再度練り直す必要がある。

- ・話題提供も厳しいのではないか。 →今年紙面発表のため、来年、再来年にスライドできない。
来年度以降のことを早急に役員会で検討してもらおう。研究協議会については来年度以降の事も未定のため、役員検討委員会での検討はしない。

4. 役員割について

- (1) 委員長 吉田先生が夏休み中に原案を作成する。
- (2) 各検討委員にメールにて送付し、意見を委員長へ送付する。
- (3) 意見を踏まえ、訂正したものを再度各検討委員に送付し、地区にて検討する。(10月ごろを目途)
- (4) R3に役員検討委員会を開催し、そこで決定とする。

各地区からの意見を踏まえ、以下のように行う。

- ・会長は3つの地域で、それ以外の役員は各地区で分けてブロック割を作成する。会長をブロック割にした経緯を載せる。会長の決定の仕方は、各地域に任せる。(推薦など)
- ・世代別人数は今年度集計したものを参考に役員割を検討する。

小松 どの年代でも大変さは変わらない。会員数で役員割を検討してほしい。

加賀 30代以上の年齢層が減っているため、考慮してほしい。20代は講師や新規採用が多く、定着しない。研究会に参加しない人が増えることが心配。自分たちがやりたいことをする会だから、加入促進していける内容になってほしい。

能美 会員数が少なく、特に50代が少ない。年齢は理由にならない。委員をするのも2巡目の方が多い。

白野 R6～のブロック割では、会長か副会長と考えている。年代的に候補者が少ないため、副会長でお願いしたい。地区の状況(年齢層)によっては、会長・副会長は厳しいのではないか。

金沢 R5以降は50代が20人程度退職する。人数が多いので、役員が当たるのはやむを得ない。

河か 役員をローテーションで回しているが、ライフステージに合わせて役員になれる時に出ることができる雰囲気作りが必要。

羽昨 20代は講師や新規採用が金沢から来ていて、どうなるかわからない。統合の可能性があり、会員数が更に減る可能性がある。

七鹿 50代は介護や体の不都合が出てくる。
会長決めも進んでいない。

鳳輪 地区のローテーションが厳しい。会長がなかなか出てこない。
会長をブロック割で考えてはどうか。以前は地域で推薦して選出していた。
→会長とそれ以外の役員とで分けてローテーションを組んだ場合、会長職による地区への考慮ができない。また、地域で集まるのが難しい。(例 研究協議会の中で1時間、ブロック割による情報交換の時間をとる。)

珠洲 他の地区から来ている人が多く、若い人は戻っていく。会員数が少ないため、考慮してほしい。
家の都合や距離の関係もあり、役員会の参加をリモートでの参加も考えていく必要がある。

高校 点数制になっており、話し合いをしている。